

○議長（福田正男議員） 次に、加藤聖菜さん。

〔6番 加藤聖菜さん登壇〕

○6番（加藤聖菜さん） 6番、加藤聖菜です。よろしくお願ひします。

本日は、島田市が防犯についてどのように対策をとっているのか質問させていただきます。

私は地元の高校に通っていますが、部活動や学校行事の準備などでどうしても下校する時刻が遅くなってしまうことがあります。そういったときは、特にできるだけ友達と一緒に帰るようにしています。ですが、帰路の方向が同じ友達は少なく、一人で夜道を帰らなくてはいけないことが多いです。私は金谷に住んでいます。ふだん学校と自宅を行き来する道は、夜になるとほとんど車の通りもなくなり、明かりが少ないためとても暗くなります。さらに、秋や冬の季節は日が短いので、部活動の練習を終えてすぐに下校しても道が暗くて、何となく怖い思いをしながら帰っています。

約2年前、高校1年生の秋ごろに私は不審者と思われる人に遭遇しました。その日はいつもどおり部活動の練習を終えて学校から家に向かっていました。自転車で道を真っ直ぐ走っていると、途中、脇道に男の人が見上げるように立っている姿が見えました。男の人の体の下半分は茶畑が違って見え、近くでよく見かける人でもないようだったので、夜に人気のない場所で何をしているのだろうと違和感を覚えました。その脇道を通り過ぎた後、視界に入った様子は、男の人が露出をしているようでした。私はそのことに気がついたとき、とても怖くなりました。

また、中学生のころに先輩が不審者に遇ったと聞いたこともあります。このように不審な人に遭うことは身近でもよくあり、きっと遭遇した人は、誰もが怖い思いをしたはずです。

そこで質問です。市内には幾つもの小・中・高などの学校があって学生が多いですが、暗い場所も通る児童・生徒もいるかと思ひます。少しでも

安全に通学できるよう、また不審者に遇わないような安全対策についてお聞きしたいと思います。

島田市として治安維持や改善のために、現在、どのような対策を行っていますか。

以上で壇上での質問を終わらせていただきます。

〔6番 加藤聖菜さん発言席へ移動〕

○議長（福田正男議員） 染谷市長。

〔市長 染谷絹代登壇〕

○市長（染谷絹代） 加藤さんの1の(1)の御質問についてお答えをいたします。高校1年生のときに不審者に遭遇し、非常に怖い体験をされ、また身近なところでも同じような体験をされている方がいらっしゃることから、今でも不安な思いで通学されていることと思ひます。そうした被害をなくするため、市では道路照明や防犯灯の設置、不審者情報の関係機関への情報提供、防犯ボランティアによるパトロールなどを行っております。まず道路照明灯は、主に交通量の多い道路に基準を満たした間隔で設置されており、市などが設置しています。この照明灯だけでは自転車や歩行者にとっては少し暗いと感じるかもしれませんので、市では防犯灯の設置を推進しております。防犯灯とは交通安全や犯罪防止のため、地域の自治会や町内会が夜間暗くて危険な場所に設置する照明灯のことで、毎年市内のさまざまな場所で新しい防犯灯の設置が行われています。市では防犯灯を設置・維持する自治会や町内会に対して補助金を交付し、費用の一部を負担しております。このように自治会や町内会とともに地域の防犯力の向上に努めています。

さらに、島田市教育委員会では不審者に関わる情報があった場合、全小・中学校、保育園や幼稚園及び警察等の関係機関に不審者情報として情報提供をしています。各学校は児童・生徒に登下校の際には複数で帰ること、通学路の子どもを守る110番の家を確認するなど指導しています。また、不審者情報をメール配信し、保護者にも注意喚起

を行っております。

また、地域安全推進委員と呼ばれる防犯ボランティアには、犯罪を未然に防ぐことや不審者を遠ざけることを目的に、警察の署員だけでは回り切れない箇所も、青い回転灯をつけた車でのパトロール活動を実施していただいております。このように島田市といたしましては市民の皆様がより安全・安心に暮らすことができるまちづくりを目指して、学校・地域とともに今後一層、防犯対策に取り組んでまいりたいと考えております。

なお、再質問につきましては教育長並びに担当部長から答弁させる場合がありますので、よろしくお願いをいたします。

○議長（福田正男議員） 加藤さん。

○6番（加藤聖菜さん） ありがとうございます。

再質問させていただきます。今の答弁の中で、市として暗い場所を照らすために道路照明灯と防犯灯を設置しているとの答弁がありましたが、道路照明灯や防犯等の設置効果を教えてください。

○議長（福田正男議員） 杉村地域生活部長。

○地域生活部長兼支所長（杉村嘉弘） それでは、加藤さんの御質問にお答えをさせていただきます。

まず、道路照明灯につきましては、例えばカーブで見通しの悪いところ、横断歩道、交差点、交通量の多い道路、それからトンネルなどに設置をしまして、主に夜間の車の走行を安全でスムーズにするための効果というものがああります。

それから防犯灯につきましては、道路照明灯がないような路地、それから住宅街、公園、暗くて危険な場所などに設置をしまして、いろいろな犯罪の防止に効果があります。また、自動車の運転手にとっても歩行者を発見しやすいということ、それから交通安全対策上の効果もあまして、地域の安全を守るために非常に大きな役割を担っております。なお、最近では市内のさまざまな場所で新しい防犯灯の設置、それから従来の蛍光灯を使った防犯灯よりも明るくて長寿命であるLED

D型の防犯灯への取り替えが計画的に行われ、より明るく夜間の道路などを照らすような取り組みがされております。

以上です。

○議長（福田正男議員） 加藤さん。

○6番（加藤聖菜さん） ありがとうございます。

市内のさまざまな場所により明るい防犯灯が設置されるということで安心いたしました。この防犯灯の設置の場所はどのように決めていますか。

○議長（福田正男議員） 杉村地域生活部長。

○地域生活部長兼支所長（杉村嘉弘） 例えば電球が切れて暗くなってしまっている場所、それから防犯力を高めるために新たに設置する場所、そういった場所を毎年自治会や町内会が調査を行って、計画的に取り替えたり設置をしています。もし加藤さんが日頃暗くて危険だとか危ないと思っている場所、防犯灯を設置してほしい場所がありましたら、お父さん、お母さんとか御家族の方に相談をして、自治会や町内会に対してぜひ要望をしていただきたいと思います。

以上です。

○議長（福田正男議員） 加藤さん。

○6番（加藤聖菜さん） ありがとうございます。

市として暗い場所に対して防犯灯の設置に補助を出すなど、地域とともに対策を推進していることはわかりました。私も防犯灯が設置されたいと思う場所に関しては、町内会などを通して伝えてみたいと思います。

教育委員会では不審者に関わる情報があった場合に、不審者情報をメール配信等で関係機関へ情報提供するということですが、関係機関を具体的に教えてください。

○議長（福田正男議員） 濱田教育長。

○教育長（濱田和彦） 関係機関としましては、島田警察署、消防署、それから市役所内にあります生活安心課、保育支援課、それから附属中学、市の境で起きたような場合は、近隣の市教育委員会

を通して他市への情報提供も行っているところ  
です。

以上です。

○議長（福田正男議員） 加藤さん。

○6番（加藤聖菜さん） ありがとうございます。  
情報は各学校、保育園や幼稚園、幾つかの機関に  
提供されていることを聞いて、オール島田で情報  
は共有されていることはわかりました。実際、島  
田市において不審者の発生は増えているのか減っ  
ているのか、昨年度及び今年度の不審者情報の数  
を教えてください。

○議長（福田正男議員） 濱田教育長。

○教育長（濱田和彦） 昨年度は小学校から10件、  
中学校から9件、合計で19件の不審者情報があり  
ました。内訳としましては、声かけ事案が一番多  
いのが実情です。それで今年度におきましては、  
6月末現在、小学校で8件、中学校で1件の不審  
者情報が報告されています。今年度の特徴として  
は、声かけよりもカメラやスマホで写真を撮るよ  
うな行動をとられる、そういうような不審者情報  
が4件と大変多くなっているのが特徴です。増減  
については、大きな傾向はないということです。

以上です。

○議長（福田正男議員） 加藤さん。

○6番（加藤聖菜さん） ありがとうございます。  
声をかけられた、カメラやスマートフォンを向け  
られたという、怖い気がします。そうした不審  
者の情報は学校にも入るとのことですが、こうし  
た不審者に対して学校は何か取り組みをしていま  
したら教えてください。

○議長（福田正男議員） 濱田教育長。

○教育長（濱田和彦） 学校の一番の取り組みは、  
先ほども答弁申し上げましたが、メール配信をす  
るということが一番大きいかということは思っ  
ています。子ども一人に対して1通のメールだけ  
でなくて、両親、それから祖父母のメール登録も  
できるものですから、大勢の方にメール配信をする

ことによって被害を防止するということできて  
いるのではないかと思います。学校独自で取り組  
んでいる内容につきましては、一つは通学路の安  
全確認ということを行っています。年度当初に登  
校班ごとにどこが危険なのか、これは交通事故等  
も含めてですが、または今のような不審者情報  
があった場所、そういうような確認をしています。  
あわせて、110番の家の場所確認等も行っ  
ています。登下校のときに何かあったら、ここが受  
け入れてくれる場所、そういうことの確認を行っ  
ておくことで速やかに避難できるということがあ  
ります。また、コンビニやそれからいろいろな商  
店でも、110番の家登録がなくても駆け込むこと  
を指導しているところでもあります。交通事故、そ  
れから不審者についての情報をできるだけ共有し  
て、事故がないように取り組んでいるところです。  
以上です。

○議長（福田正男議員） 加藤さん。

○6番（加藤聖菜さん） ありがとうございます。  
市役所や警察、教育委員会、学校などにたくさ  
んの不審者情報が集まってくるかと思いますが、こ  
うした不審者がいつごろ、どのような時間帯に発  
生するかなど、傾向はあるのでしょうか。

○議長（福田正男議員） 杉村地域生活部長。

○地域生活部長兼支所長（杉村嘉弘） 発生の傾向  
についてですけれども、平成27年と28年に静岡県  
下で発生をして警察署に通報のあった不審者情報  
について、発生傾向を分析したデータがあります。  
これを見ますと何曜日が多いかといった曜日の実  
態においては、児童・生徒が登下校をする月曜日  
から金曜日において、曜日に関係なく平均的に発  
生をしています。特にこの曜日に発生件数が多い  
といった傾向はありません。また土曜日や日曜日  
においては発生が少なくなっています。時期とし  
ましては、長期間の休みがある3月、8月、12月  
は登下校も少ないということで、発生件数が減っ  
ているという傾向があります。それから時間帯に

については、午後3時から午後6時といった下校時に最も多く発生をしまして、小学生で、しかもその7割が1人で下校中に最も多く発生しているといった結果が出ています。さらに最も多い時間帯に続いて、夜間の午後6時以降が多いといった結果が出ていますし、時間が遅くなればなるほど年齢層が上がって、高校生を対象とした発生件数が多くなっています。また発生場所については道路が圧倒的に多くて、次に公園や駅というふうになっています。こうした分析結果については、警察署から防犯パトロールなどをしてくださっていますボランティアの皆さんなどにも伝えられていまして、パトロール活動等に生かしていただいております。

以上です。

○議長（福田正男議員） 加藤さん。

○6番（加藤聖菜さん） ありがとうございます。幾つもの質問にお答えいただき、ありがとうございます。いろいろな防犯に対する市の対策をお聞きしましたが、最後に私の意見を述べさせていただきます。市内には多くの学校があり、学生も多いです。女性や子どもも住んでいます。誰がいつ、不審者に遭遇するかわかりません。私のように怖くて不快な体験をする人が増えないでほしいです。市民の誰もが安全に暮らせるようにすることは、豊かに暮らすための土台として大切なことだと考えます。全ての人安心して島田市に住んでられるように、犯罪のない、より安全な環境となるよう市役所、警察をはじめ市民のボランティアの皆さんにも協力してもらえたらと思っています。

これで質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（福田正男議員） 濱田教育長。

○教育長（濱田和彦） 市役所全体で防犯について取り組んでいかなければならないことは十分わかっています。一つ少し説明させていただきたいと思うのですが、島田市は大変地域力の高いまちだ

と思っています。御存じのとおりに小学校の登下校時には大勢のボランティアが子どもたちを見守ってくれています。それから私が聞いた話では、下校時間に合わせて家の前に出るようにしているというお年寄りの話を聞いたことがあります。そういう地域の人たちが地域の安全を守っていると思います。それから挨拶運動のよくできる地域は、犯罪件数が少ないと言われていています。見知らぬ人にも声をかけるような地域ができていると、そこにはやはり不審者、犯罪者が近寄りたいたいということもあります。また、加藤さんの地元でも地域で挨拶運動等、声をかけるような運動を盛り上げていただければ、それが自分の身の安全を守ることにもつながっていくのではないかと思います。

以上です。

○議長（福田正男議員） 染谷市長。

○市長（染谷絹代） 加藤さん、ありがとうございます。今日いろいろ御質問していただく中で、道路照明灯と防犯灯の違いなども日頃の生活の中では気づかないことだけでも、行政はそれを区分しているというようなことや、さまざまお気づきいただいたと思います。防犯灯は市内に約8,000もの防犯灯があります。しかし、それでもまだ足りないということで、毎年自治会から御要望をいただいて、新たな防犯灯を設置しているところです。また、私自身も加藤さんと同じように高校生のときに同じ思いをしたことがございます。60歳を過ぎても、そのときの怖さを忘れることができません。やはりそうした心の傷跡にまでなってしまうような、全く未然であったとしても、怖い思いをしたということが、本当に長く女性の心に尾を引きます。そうしたことのない、地域力を向上させていく。まさに教育長が今お話をしたように、島田市は地域力の高いまちであると、これは私の誇りでございます。そうした中で、地域の皆さん方の目が届く、そして声かけのできる、そ

ういったまちは犯罪の抑止力も高いと考えておりますので、今回の防犯灯に限らず自然体で取り組んでまいりたいと思っております。

○議長（福田正男議員） 加藤さん。

○6番（加藤聖菜さん） 御答弁、感謝します。ありがとうございました。